

第3回あり方検討委員会でいただいた主な意見

資料 3

No	該当箇所	委員	委員意見	対応（案）
1	第1章3 経営状況	土谷委員	自己収支比率推移の収入額や支出額を部門別等もう少し細かく見てもよいのではないか。	資料編を作成し、収支状況の資料を記載した。
2	第1章3 経営状況	田村委員	No.1に関連して 経営力向上WGでの検討状況を資料として載せればよいのではないか。	
3	第1章3 経営状況	外川委員	自己収支比率に令和5年度が回復基調となっている要因を書き込んだ方がよいのではないか。	以下の理由を記載した。 新型コロナウイルスの感染拡大影響により減少した入院患者数が令和5年度は回復したため。
4	第1章3 経営状況	安保座長	収支については、従事している医師の人数が重要。他病院の回復期病棟と東京都リハビリテーション病院それぞれの収益及び医師の人数について、データがあれば比較をした方がよいのではないか。	ワーキンググループでは医師等の人数を比較した分析は行っていないため、今後の参考とする。
5	第3章4 災害時支援	土谷委員 杉下委員	・災害時の医療救護活動をもう少し具体的に記載できればよいのではないか。 ・墨田区と調整とあるが、関係団体等の記載にしてはどうか。	以下のとおり修正した。 東京都リハビリテーション病院の医療資源を活用した災害時の医療救護活動について、引き続き関係機関と調整し、機能の強化に取り組んでいく必要がある。
6	第3章1 医療機能 （3）小委患者の受け入れ	外川委員	回復期リハビリテーションが必要な小児患者について、ぜひ手を差し伸べていただきたい。	引き続き回復期リハビリテーションが必要な小児患者を受け入れていくべきであることを記載している。
7	第3章1 医療機能 （3）小委患者の受け入れ	新井委員	小児患者の受け入れについて、障害者病棟の対象患者は東京都の療育センターの役割であり、小児科医がいない都リハで小児をたくさん診るということは非常に厳しいかなと思っている。	引き続き高次脳機能障害などで回復期リハビリテーションが必要な小児患者を受け入れていくべきであることを記載している。
8	第4章4 支出削減の取組	土谷委員	支出削減の取組も具体的な数字があるとよい	後発医薬品の使用や院外処方箋の発行率（令和3年度から5年度）の実績を記載した。
9	第4章6 施設整備による機能変更	土谷委員	手術室の機能変更について、収益が削減されることも含めて慎重に検討した方がよいのではないか。	以下のとおり記載を修正した。 手術室の他機能への有効活用について、東京都リハビリテーション病院として必要な機能や収支への影響などを総合的に勘案し検討していくべきである。
10	全般	外川委員	障害者福祉、高齢者介護、医療、それぞれの役割を明確に確認した上で、その中でも都リハが担う医療というところはこの範囲であるというところをある程度意識して書く必要があるのではないか。	障害者福祉との関係では、高次脳機能患者への医療や地域支援における高次脳機能障害者の支援者への研修等を実施として、高齢者福祉との関係では、超高齢者への医療提供や地域リハビリテーション支援といった形で、それぞれ取組を記載している。
11	全般	安保座長	現在回復期病棟は岐路に立っている。病棟自体を臨機応変にいろいろ変えていくという時期を早めに手を打ちながら、対応できる体制が必要なのではないか。	以下のとおり記載を修正した。 リハビリテーションを取り巻く環境の変化に的確に対応するとともに、将来の受療動向を見据え・・・
12	全般	田村委員	病院の大規模改修における基本計画の策定に向けて、目指すべき部分を明確にここだというようにことで、方向性を絞った方がよいのではないか。	今後の大規模改修の基本計画については、本委員会での中長期的なあり方の方に関するご意見を踏まえ検討していく。